

様式（第7条関係）



令和 6年 3月12日

伊那市議会議長 白鳥 敏明 様

会 派 名 日本維新の会

経理責任者名 三石 佳代



令和5年度 政務活動費収支報告について

伊那市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

(別紙)

令和5年度 政務活動費収支報告書

会派名 日本維新の会

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費		
広報費	120,000	
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載してください。

各項目に該当する内容については、参考として裏面に掲載してあります。

領収書

2024年 2月27日

伊那市議会議員 三石佳代 様



—あなたの“カドデ”を応援します—

ELECTION WIN



日詰祐輔

長野県松本市宮淵3丁目8-28

TOWNY城山A105

ご請求金額 120,000円

内 容	金 額
折込チラシ制作料金 A4 16,000枚	120,000
合 計	120,000

三石かよ

MITSUISHI KAYO

伊那市民の皆様が一番近い市議会議員であり続けます

ごあいさつ

回頃より、皆様の暖かいご支援により活動させて頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。本年度は特に介護施設従事者の皆様より詳細な現状を教えて頂き、改めて実務を担う皆様との対話による現状把握の大切さを実感致しました。

今後とも地域課題と実直に向き合い、皆様と共に歩んで参ります。お気軽にお問い合わせください。

伊那市議会議員 三石佳代



会派行政視察①

長野県本巣郡本巣町、本巣村

●本巣町産木材をふんだんに活用した3階建文化交流センターは内外共に景観も美しく、町の歴史、文化、魅力を伝える拠点となっています。

1階の図書館内には本格的なカフェがあり館内の図書を持ち込んで読書する事が出来ます。カフェ運営は障害者就業支援事業ですが、あえて公にせず通常のカフェと同じ様に運営する事で接客業を通じての交流を大切にしたいとの考えで、お客様と就業者との絆を深め、人の温もりを感じる暖かい空間となっています。



●本巣町では、高齢者や障害者についてご担当者からスキーム図を用いて説明を伺いました。本巣町役場全館見学では、町の森林の40%を占めるカラマツを利用する目的で作った、カラマツ材の天井板の話や床に適した木材、加工方法など林業に加え建築についても教えていただきました。

役場は木造平屋建で、バスや電車の本数が少ないことから待ち時間を有意義に過ごせる様に本、テレビ、椅子や

テーブルを配置して役場業務時間外でも利用できる出入口をつくり、勉強や憩いの場所に活用できる工夫が施されています。また、薪ボイラーを使用した冷暖房設備は少ない費用で大きなエネルギーを生む工夫が薪チップの生産工程から考えられており、長期的計画と合わせて近々に取り組む計画が明確に示されています。これらの事業が着実に実行され成果を出している事や、林業、木材に対する知識の豊富さに感銘を受けました。

●福祉施設 幸せテラス本巣のフィットネスルームは油圧式のトレーニングマシンがあり、体力に合わせた筋トレができる他、ヨガなどのサークル活動にも利用されています。視察当日はヨガサークルの日で、心地よい音楽が流れる中で、ヨガとマシントレーニングを体験させて頂きました。



施設利用料金は年間2,000円、1回300円で、午前8時半～午後9時まで利用できる。学生・社会人・高齢者まで幅広い年齢層に対応しています。

この施設には、無料の水サーバーの他に、有料のカフェが併設され休憩所や交流の場所としても利用されており運営・事業内容共に



会派行政視察②

鳥獣対策と森林環境の向上

たいへん参考になりました。心身の健康をサポートしている素晴らしい福祉事業と感じました。

昨年の会派行政視察では伊那市内及び近隣市町村へ鳥獣対策・現地視察と日本初のユネスコエコパーク認定地域である山ノ内町（志賀高原）視察を行いました。視察で教えて頂いた事を活かし、GPSを使った野生動物動向調査、アニマルマップ活用事例の情報収集など、自然環境・森林環境についての調査研究活動も継続しております。

市民の憩いの場となるような事務所をいつでもオープンにし、誰もが連絡ができる、皆様が一番近い政治家であり続けます。ご意見などございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

三石かよのお悩み相談窓口

伊那市民の皆様の声の議会に届けます！

〒396-0025 伊那市荒井 3687-1 ☎/📠 0265-73-8202

三石かよの質問と提言

50年の森林ビジョンの前提となる人口予測について

Question 少子化対策として、林業復活で若者の高水準安定所得を提案した際、答弁の中で50年の森林ビジョンが挙げられたが、50年後の人口を何人と予測した計画か。

Answer 答弁者：市長

令和22年の推定人口は、国立社会保障・人口問題研究所の5万7,393人に、移住定住促進策の増加を加味した6万3,605人とした。

国土強靱化地域計画（事前の防災、減災計画）、減災事業の現状と取り組みについて

Question 伊那市では国土強靱化地域計画として、どのような防災、減災事業を行ってきたか、現状と課題について伺う。

Answer 答弁者：市長

●ソフト面 避難警戒態勢強化として、ハザードマップ作成、活用、防災教育、防災態勢などの構築、情報伝達手段整備、避難行動要支援者対策など実践的避難行動支援、自主防災組織育成、消防団の強化など地域防災力の強化に取り組んでいる。また、災害時医療態勢拡充、伊那市業務継続態勢など、自助、共助、公助バランスのとれた取り組みを進めている。令和6年度の第三期計画では、多用な主体の連携による支援態勢の構築を基本として具体的方針を明示したい。

●ハード面 直接死を最大限防ぐ対策として、土砂災害防止事業、市営住宅建て替え事業など、安全対策の他、ライフライン被害を最小限に留めるため、経済活動を機能不全に陥らせない対策として、舗装改良、交通安全対策、下水道施設の長寿命化、道路整備、土砂災害防止事業をはじめとし交付金、補助金を活用し継続する。

※伊那市国土強靱化地域計画に記載

新たな治水事業の在り方、海への水路開通の検討について

Question 治水対策は最優先の課題である。ダムによる治水事業は良い方法か。

Answer 答弁者：市長

天竜川流域治水のために戸草ダムは必要で、早く進めるべき。

独自財源確立のための宝くじ販売について

Question 資金が無ければ何も出来ない。様々な支援に対応するための資金調達の一環として、お金を使わずに儲かる市独自の宝くじ発売を提案する。宝くじ発売は、法律で都道府県と人口50万人以上の指定都市しか通常認められないが、税金は同様に納めており、不公平極まりない。国へ説明を求めるべきだと思うが、市長の考えを伺いたい。

Answer 答弁者：市長

財源確保は極めて重要であるが、伊那市独自の宝くじの販売は、法律上許可を得ることができない。法規制緩和の特区申請の方法もあるが、多くの市町村が販売を検討して大きな混乱を招くことが予想される。宝くじの販売よりも、ふるさと納税制度の寄附先に選ばれるように特産品の充実を図る方が得策である。

Question まずは持続可能な財源をつくることが重要。宝くじは70年以上続く実績がある。人口制約撤廃など法改正の要望書を提出したが、法が改正された場合は、宝くじの販売をするか。

Answer 答弁者：市長

仮に法が改正されても、複雑な事務処理、多額な業務委託や競合による販売不振の赤字負担などを考え、慎重であるべき。

福祉施設従事者のサポート体制強化について

Question 介護施設の人手不足は深刻な状況。サポート体制強化の必要性についてどう考えるか。

Answer 答弁者：市長

定期的に意見交換し、協議している。今後も行政ができる支援を研究し、補助事業の周知も図る。

Question 伊那市が取り組む新産業技術を、介護施設従事者の支援事業としてほしいという要望があるが可能か。

Answer 答弁者：市長

高齢者などの外出機会を創出する目的で内閣府の交付金を受けており、施設入所を必要とする方については、当初から対象としては盛っていない。

Question リニアの工事によりトンネル技術が進化している。海まで水路開通する新しい治水事業を検討してはどうか。

Answer 答弁者：市長

膨大な時間と費用がかかる。ダムが最適だと考える。